

《ユニークベニュー調査業務》

調査目的	経済効果の高いコンベンションの主催者が関心を示しているユニークベニューについて、調査・研究を行い、ユニークベニュー活用プランを定め、誘致提案力の強化を図りつつ官民一体となった誘致活動に繋げていく。
------	--

1. 主催者ニーズ調査より 調査協力団体 23 団体（スポーツ系 8、ビジネス系 11、国際会議 4）

■ユニークベニューについて

・必要性	34.8%
・開催地選択への影響度	73.9%
・支援メニューの必要性	78.3%（1位補助金 2位シャトルバス）
・関心度	60.9%
・活用意向	懇親会・レセプション 78.6%（人数規模 100~300 人未満が多い） 会議 50.0%（人数規模 30~50 人未満が多い） 分科会 50.0%（人数規模 50~100 人未満が多い）

◆ユニークベニューに対する認知度は低く、活用実績も少ないが、ユニークベニューに関心のある団体が全体の 6 割強を占める。ユニークベニューの活用について「具体的なイメージがわからない」といった意見もあり、具体的な活用イメージを盛り込んだ情報発信が必要である。

◆ユニークベニューの活用意向については「懇親会・レセプション」が最も多い。

2. 先進的な取組事例より 調査協力団体 16 団体・109 施設

<p>■ユニークベニューの効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足の上昇 87.5% ・他地域との差別化 75.0% ・コンベンション誘致力強化 62.5% <p>■ユニークベニューの収容人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100~300 人 44.0% ・300~500 人 11.9% 	<p>■ユニークベニューの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニークベニュー保有者の理解・協力 81.3% ・新たなユニークベニューの発掘・開拓 75.0% ・ユニークベニューの認知度向上 43.8% <p>■ユニークベニューの魅力を高める要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観の良さ ・特色がある飲食 ・エンターテインメント ・自然の豊かさ ・特別な体験
--	--

会場としてのユニークベニューを提案するだけでなく、先進事例においては、ユニークベニューに特色のある飲食（歴史ある寺院での精進料理、地域の特徴的な食事など）、特別な体験（酒蔵で地酒の試飲、歴史的建造物での地域芸能披露など）、エンターテインメント（屋形船で鵜飼など）などを組み合わせている。

3. 調査結果から導き出されるユニークベニューの諸条件

該当する項目が多いほど、ユニークベニューとして有利

- 他地域から来た人（外国人含む）に興味、関心を持ってもらえる何らかの要素がある。
- 他地域に類似の施設がない（他地域では類似の体験ができない）。
- メイン会場からアクセス可能な場所にある（移動が難しい場合は何らかの手段を講じる）。
- コンベンションの開催に必要な最低限の設備（トイレ・電源）がある。
- 施設保有者の理解が得られる。
- 屋外の場合は雨天の場合の対策を講じることができる。
- 安価に使用できる。
- 飲食ができる。
- 最大収容人数 100 人以上である。

4. 市内資源の洗い出し及び活用可能性の検証

関係団体等によるワーキンググループを設置し、市内に有する地域資源の洗い出しとユニークベニューとしての活用可能性を検証。

- ※五十音順
- 第1回ワーキンググループ（平成27年9月30日）
1. 事業の説明
 2. これまでの調査結果
 3. 意見交換
- 第2回ワーキンググループ（平成27年11月12日）
1. 市内資源の洗い出し
 2. 意見交換
- 第3回ワーキンググループ（平成27年12月17日）
1. 周南市 ユニークベニュー案について
 2. 周南市版 ユニークベニュー候補一覧について
 3. 意見交換

主な関係団体
（一財）周南観光コンベンション協会
（株）まちあい徳山
（公社）周南青年会議所
新南陽商工会議所
徳山商工会議所
徳山旅館組合
NPO法人ライトアップ周南

5. 周南市版ユニークベニュー

■周南市版ユニークベニュー一覧

ユニークベニューの訴求度 … 国際会議 > ビジネス系 > スポーツ系

ユニークベニュー
晴海親水公園
漢陽寺
大津島（回天関連施設、石切場跡）
温泉施設及びその周辺
中心商店街（アーケード）
永源山公園
徳山動物園
ボートレース徳山
クルーズ船
自然（桜並木、芝桜、万葉の森）

【基本的な考え方】

ユニークベニューとは、「歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議やレセプション等を開催することで特別感や地域特性を演出できる会場」のことを指す。

このため、ユニークベニューの活用では、ハード（施設・場所）に視点が偏りがちであるが、特別感や地域特性を演出できるものとして、ハードとともに提供できるソフトも重要なポイントとなる。

また、ハード面の充実には限界があるが、ソフトについては、更なる洗い出し、磨き上げなど、新たに創り上げることが可能である。

このことから、ソフトや他の魅力的な資源をユニークベニューに組み合わせることが重要である。

このほか、活用可能な資源として、太華山山頂、美術博物館、道の駅などが挙げられる。

《ソフトや他の資源との組み合わせの例》

【晴海親水公園】※レセプションを想定

工場夜景鑑賞（日本夜景遺産）、生演奏や伝統芸能、プロのカメラマンによる写真撮影、水素水

【大津島（回天関連施設、石切場跡）】※会議、レセプションを想定

回天トンネル、和太鼓演奏、茶室「石柱庵」、ガマの群生地、キャンプ、自然体験

【永源山公園】※会議、レセプションを想定

イベント、風車見学、郷土美術資料館、酒蔵ツアー、ゆめ風車通り、旧日下医院、ジャズ喫茶

【ボートレース徳山】※会議を想定

貴賓室での観戦、バックヤードツアー、ペアボート体験、イベント、ふぐ、給島、太華山

【徳山動物園】※会議、レセプションを想定

次世代エネルギー施設、夜間動物鑑賞、動物企画展示、文化イベント、歴史探訪、絵画等鑑賞、桜並木

国際会議やビジネス系など、ユニークベニューに関心を示すコンベンション主催者が一定数存在するため、官民が一体となって情報発信や資源の磨き上げ等に取り組むことにより、誘致力の強化に繋げていく。